

陸奥湾のマダラ漁獲状況について（続報）

前回(2017年12月1日に本HPに掲載)、陸奥湾における今漁期のマダラ漁獲の見通しについてお知らせしておりましたが、今回、2018年1月上旬までの漁獲状況をお知らせします。

2017年漁期(2017年9月～)は、豊漁だった前年漁期に続き、2年連続で1,000トンを越える豊漁となっています(2018年1月上旬までの速報値、図)。

漁獲主体となっているサイズは、全長70cm台、体重5kg～6kgで、過去に行った年齢査定の結果にあてはめると6歳魚、5歳魚に相当します。

以上のことから、前年漁期に多く来遊した2012年級群(今漁期の6歳魚)や2013年級群(同5歳魚)が、今漁期も順調に来遊しているものと考えられました。漁獲物の年齢査定は今漁期も実施しますので、結果がまとまりましたらウオダスや本ホームページでお知らせします。

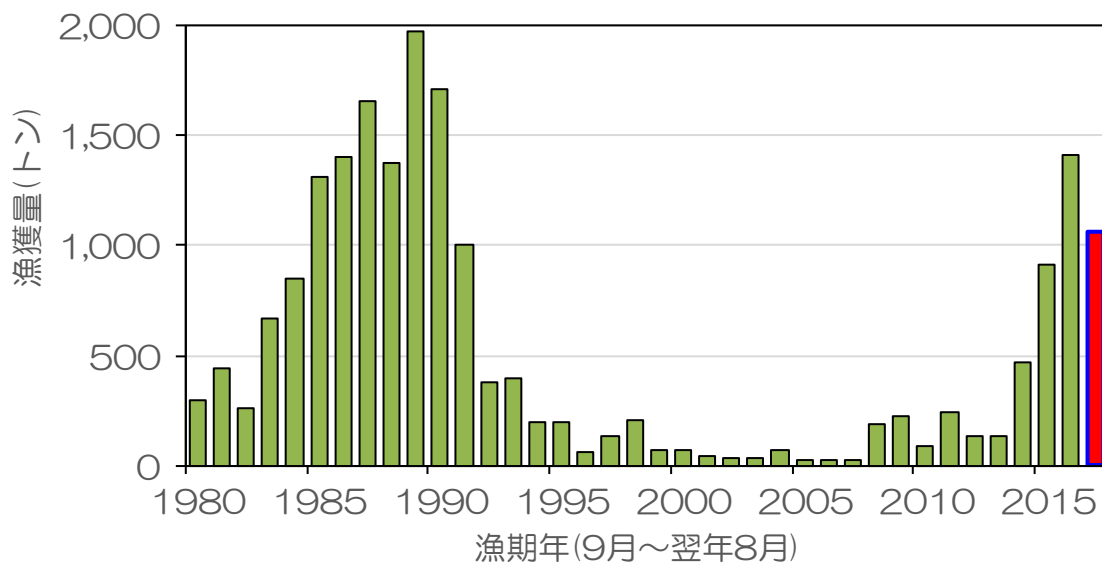


図 陸奥湾におけるマダラ漁獲量の推移(水産総合研究所調べ)

※2017年漁期は2018年1月上旬までの速報値